効性について所見を伺う。

市長経済的支援、行政情 要望が市に寄せられたか。

報の提供、相談体制の充実

題解決のためにどのような

議員 地域活動における課

がまちづくりにもたらす有 が行われている。地域活動 掃活動など様々な取り組み 域活動として防災訓練や清

町会・自治会等の地

性は、市民に注目され、そ

の意義が確認されている。

自由民主クラブ

伊 東

光則

議員

する活動や支え合いの重要 市長 コミュニティを醸成

などの要望があった。

間

職員のスタッフ等としての

地域活動における市

性について所見を伺う。

りです。 質問を行いました。要旨は次のとお 質問を行いました。要旨は次のとお の議員が、市政全般について、一般 9月3日、4日の本会議で、20人

臨時災害放送局の

## 自由民主クラブ 局に必要な準備を



渥美 典尚

大震災等の災害発生

市長災害時には特別編成 要性について所見を問う。 となる。災害時のコミュニ ティFMラジオ放送局の必 時にラジオは貴重な情報源 る「臨時災害放送局」は、 は、引き続き協議したい。 た。災害時の広報について 送時間の拡大・固定化、 市長本市の情報番組の放 送回数の増加等を進めてき

議員

要な広報媒体の一つだ。

続き情報収集に努めたい。 置は困難な状況だが、引き 事情により、直ちに新規設 について、検討状況を聞く。 議員 本市でのコミュニテ 普段からの連携・協力関係 るため、むさしのFMとの 本市の情報を確実に発信す の情報発信を行うなど、重 議員 非常時により多くの ィFMラジオ放送局の設置 周波数帯の不足等の 〈その他の質問〉中学校にお る。手続きや経費等につい 市長 あらかじめ準備するか、む 非常に有効な広報手段であ による対応を図るべきだ。 さしのFMとの連携・協力 本市独自でFM放送設備を いつでも開局できるように づいて自治体等が設置でき て調査・検討していきたい。 本市でも絶対必要だ。 有効性は認識してい

けるレスキュー部について 災害時に放送法に基

を更に強化すべきだ。

会等の地域活動

行政支援の充実を

機会だ。児童・生徒が地域 極的に参加を促している。 を知り、社会にふれる良い いる。特に若手職員には積 活動に参加することの有効 徒が参加することは、地域 市長も職員も極力参加して 参加状況を伺う。 古紙のリサイクルに 地域活動に児童・生 招待された行事には

を行っている。市の支援内 市長用品の貸与や支給等 政支援の現状や今後の取り な活動と考えている。 組みについて聞く。 議員地域活動に対する行 員としての自覚が育つ有効 で安心して育ち、地域の一

参加の機会を増やしたい 容の情報提供に努め、職員

より有効な取り組みを 自由民主クラブ

と聞く。余分な労力削減の 防止等の観点から、できる ため、市民等へ周知せよ。 ーでのPR等で取り組み団 効である。集団回収の取り 生活環境部長 異物の混入 取り外さなくても問題ない 製造工程で除去されるため に、ホチキス針は再生紙の 体の拡大に更に努めたい。 組みを更に推奨すべきだ。 ミュニティ醸成等に大変有 リサイクルカレンダ 古紙を回収に出す際 資源化推進や地域コ 再生資源集団回収事 議員市庁舎等での不要書 用紙を貼る制度が有効だ。 市の回収に出す意思を示す きるとの見解を得ている。 市長関係機関とも協議し 若干曖昧ではないか。 が、指定収集場所としては 護に万全を尽くすべきだ。 類の処理では、個人情報保 力を求めたい②検討中だ。 生活環境部長 止のため、①収集開始時刻 による資源物の持ち去り防

出場所を「各戸の敷地と道 路の境界付近」としている だけ分別を求めている。 戸別収集における排

総務部長 トラックへの積 直前に出すよう周知せよ② 議員 悪質な持ち去り業者 指定収集場所として特定で 土屋 健 ①市民に協 議員

市長

までを見届けている。 会い、溶解施設への投入等 み込み段階から職員が立ち



商店街の活性化を支援し 安全安心のまちづくりを 自由民主クラブ 加藤 浩司

せるまちかどうかは、災害 への取り組み、子育て環境 安全で安心して暮ら

の充実、公共交通機関の至 ちについて見解を伺う。 る。市民の多くが共感する 便性等多くの点で評価され 安全で安心して暮らせるま

教育長 子どもたちが地域 付けや役割を伺う。 まちにつながるため、商店 みだ。地域活性化プロジェ 議員日常生活での利便性 さ、セーフティーネットと 境整備事業などを推進する クトにおける商店街の位置 街の活性化は重要な取り組 も安全で安心して暮らせる 視しているのではないか。 持などは市民が共通して重 市長 地域商店会が買物環 涯学習を含む教育保障の維 しての社会保障の整備、生

ことにより積極的にまちづ

環境配慮型のまちづくり 新たな視点で取り組みを

推進について所見を伺う。 議員 の利用の有無について市民 で上限に達した。補助制度 を念頭に検討を進めたい。 環境負荷の小さい施設整備 修に合わせ、災害に強く、 ある。本市の公共施設等へ やコストなど様々な課題が ネルギーの導入には効率性 議員 今年度の新エネルギ 市長 建て替えや大規模改 の新エネルギー設備の設置 導入助成事業予算は8月 太陽光発電等の新工

議員

太陽光を活用した照明灯

災害や犯罪への強

自由民主クラブ 後藤

が、今後検討していきたい。 ど現時点では運用が難しい 都市整備部長新たな土地 いる電動アシスト自転車に 議員世田谷区で実施して 検討も必要と考えている。 るための新たな利用方法の の確保が必要になることな ぜひ検討してもらいたい。 よるレンタサイクル事業を に、環境に優しい乗り物と しての自転車利用を促進す 還金として徴収している。 で発覚し、悪質なものは返 点検し、 る。状況と対応を聞く。 制度上の問題を抱えてい 市長金融機関への調査等

から事業の成果を伺う。 向上と商店街活性化の両面 事業について、生活利便性 課題解決に向けた買物支援 議員福祉や商業活性化の 力、にぎわいと交流の場の 関係団体と恊働でまちの活 くりに取り組むとともに、 創出を目指すこととした。

議員

隠れた需要を喚起できた。 商店会の認知度が向上し、 者の利便性向上につながる 店会が実施していた、消費 生活環境部長 従前から商 る商品を紹介することで、 サービスや各個店の魅力あ

貴光 議

生活環境部長 環境基金活 の施策の充実を図るととも 市長 ハード面・ソフト面 に推進していくのか伺う。 る。今後、市は歩行者と共存 自転車の人気が高まってい 運用を検討していきたい。 うに制度を検証すべきだ。 の間に不公平感が出ないよ にも活躍する乗り物として 議員 環境に優しく災害時 を協議し、不公平感のない 用委員会等で制度のあり方 した自転車利用をどのよう

切な医療の防止に努める。 等もあり、不正受給を許す 議員 ケースワーカー不足 を行っている。今後も不適 きやすい。市の状況を聞く。 市長毎月レセプト全件を 剰診療や薬の過剰投与が起 患者に窓口負担がなく、過 議員生活保護費の総額の 約半分を占める医療費は、 、嘱託医の審査、指導

## 周知・啓発の取り組みを 市国民保護計画の

自由民主クラブ 吉野 和之

共に考えていくべきだ。 画の重要度は増している。 議員国際情勢の緊張度が 議員国民保護計画の内容 り、一層周知していきたい。 であると認識している。ホ 本計画を再度市民に伝え、 高まるにつれ、国民保護計 基づき適切に対応したい。 なるのでそれぞれの法律に 対象となる災害や事態が異 市長防災と国民保護では 長の基本的な見解を伺う。 える。この点についての市 危機管理が必要であると考 災、国民保護の両面からの ームページへの掲載等によ 産を守るための重要な計画 市長市民の生命、身体、財 大災害の際には、防 り組みを強めていきたい。 国民保護計画の周知への取 方法は想定していないが、 事業との連携・連動という の取り組みについて伺う。 ことが必要と考える。今後 あるものとするために防災 議員 本計画をより実効性 画の啓発に取り組みたい。 するとともに、国民保護計 いる。平和施策全般を推進 らう必要があると認識して ついて、市民に理解しても 市長 計画の存在や内容に べきと考える。見解を伺う。 動を具体的に推進していく ことが必要であり、啓発活 に関する事業と連携させる について、正しく理解する 現時点では防災対策

旧保護制度の現状を問う

受給、所得隠し

自由民主クラブ 石井 良司

協力を求めていく。 る受給者の意欲も余り見え 者が増え続け、就労に対す ながら、扶養義務の履行、 再生が不可欠だと考える。 議員 働けるのに働かない 市長個別の事情に配慮し 養義務者の理解、家族力の 大半が断られると聞く。扶 議員 扶養義務のある親族 に扶養の可否等を尋ねても 課題を聞く。

が少ないこと、稼働年齢層 の就労意欲醸成が課題だ。 立は増えている。正規就労 新規就労者や就労自